



令和3年4月15日

東京都千代田区四番町5番地3
科学技術振興機構（JST）
Tel：03-5214-8404（広報課）
URL：https://www.jst.go.jp

「STI for SDGs」アワード 2021年度公募の開始について

JST（理事長 濱口 道成）は、未来共創推進事業の一環として、科学技術イノベーション（以下、「STI」）を用いて社会課題を解決する地域における優れた取り組みを表彰する「STI for SDGs」アワードの2021年度公募を開始します（別紙1・2）。

本アワードは、STIで社会課題を解決する地域における優れた取り組みを表彰・発信・共有することで、同様の社会課題を抱える地域などへの水平展開を促し、SDGs（持続可能な開発目標）達成への貢献を目指すため、2019年度に創設した表彰制度です。2020年度は、幅広い分野から応募された取り組みから計4件を表彰しました（別紙3）。

今年度は、2021年4月15日（木）～6月30日（水）まで、身近にある科学技術を活用したさまざまな分野からの応募を受け付け、選考委員会の審査を経て文部科学大臣賞、科学技術振興機構理事長賞などの受賞取り組みを決定します。特に、大学生、高校生らの若い世代を中心に行われている優れた取り組みは、次世代賞として表彰する予定です。

選考結果は10月中旬に発表し、11月に開催するサイエンスアゴラ2021内で表彰イベントを開催する予定です。また、受賞された取り組みについては、その活動に関してJSTからも積極的に情報発信していく予定です。

<選考委員会委員長である蟹江 憲史 慶應義塾大学 大学院 教授からのメッセージ>（別紙4）
世界中が共通の難局に向き合い続けている今ほど、SDGsの掲げる「誰ひとり取り残されない」理念や持続可能性が重要であり、2030年の目標達成に向けた「行動の10年」として、今年度も数多くの皆さまからの積極的なご応募をお待ちしております。科学技術イノベーションを活用して社会課題解決に取り組んでいる皆さまは、この機会にぜひ奮ってご応募ください。

<添付資料>

別紙1：「STI for SDGs」アワードについて

別紙2：「STI for SDGs」アワードフライヤー

別紙3：過去の受賞取り組み一覧

別紙4：「STI for SDGs」アワード選考委員会 委員長メッセージ

<お問い合わせ先>

科学技術振興機構 「科学と社会」推進部 「STI for SDGs」アワード事務局
〒102-8666 東京都千代田区四番町5番地3
坂内 千浩（バンナイ チヒロ）
E-mail : [sdgs-award\[at\]jst. go. jp](mailto:sdgs-award@jst.go.jp)

「STI for SDGs」アワードについて

1. 「STI for SDGs」アワードとは

「STI for SDGs」アワードは、科学技術イノベーション（Science, Technology and Innovation: STI）を用いて社会課題を解決する地域における優れた取り組みを対象に、JSTが2019年度に創設した表彰制度です。

地域の優れた取り組みを表彰・発信・共有することで、同様の社会課題を抱える地域などへの水平展開を促し、他の地域や領域における社会課題の解決とSDGsの達成への貢献を目指します。

2. 表彰対象

科学技術イノベーションを用いて、社会課題を解決することによりSDGsの達成を目指す、地域における優れた取り組みを対象とします。

3. 表彰

- ・ 文部科学大臣賞（最優秀賞）（1件）
- ・ 科学技術振興機構理事長賞（1件）
- ・ 優秀賞（4件程度）
- ・ 次世代賞（3件程度）

※件数は予定です。また、その他にも賞が授与される場合があります。

4. 応募要件

- ・ STIを用いて社会課題を解決することによりSDGsの達成を目指す、地方自治体、民間企業、大学等（国公立大学、高等専門学校、公設試験研究機関、国立研究開発法人等）、公益法人・NPO等の非営利法人、教育機関（高等学校、中学校等）、自治会やサークル、市民ネットワーク等の団体による、日本国内における取り組みであること。
- ・ 応募時点において、取り組みが計画や研究段階ではなく、社会課題解決のための具体的な活動実績を持つものであること。
- ・ 自薦での応募であること。

5. 応募期間

2021年4月15日（木）～6月30日（水）

6. 応募方法

「STI for SDGs」アワードのホームページより応募してください。

(<https://www.jst.go.jp/sis/co-creation/sdgs-award/>)

7. 受賞者発表・表彰式

受賞者は2021年10月中旬に発表し、11月に開催するサイエンスアゴラ2021内で表彰イベントを開催する予定です。

受賞者および受賞内容、表彰式については、「STI for SDGs」アワードのホームページなどで発表します。

8. その他

本内容は新型コロナウイルスの感染拡大の状況により、予告なく変更する場合があります。変更などについてはホームページなどで発表します。

STI: Science, Technology and Innovation

「STI for SDGs」

アワード

「STI for SDGs」アワードは、
 科学技術イノベーション(STI)を用いて社会課題を
 解決する地域における優れた取り組みを表彰し、
 受賞取組のさらなる発展や他地域への
 水平展開をすすめることでSDGs達成への
 貢献を目指しています。

科学技術で SDGs に貢献！

MERIT 1

科学イベントで
アピールができる



受賞した取り組みは、多様な関係者の人々が
 集まるイベント「科学と社会をつなぐ広場」
 「サイエンスアゴラ」で表彰。
 ご自身の取り組みをアピールできます。

MERIT 2

取り組みを
広く知ってもらえる



取り組みの内容や活動にこめた想いを広く
 いるるな方に知ってもらうため、アジア最
 大の環境展示会であるエコプロなど、JSTが
 関連するイベントでの登壇機会が得られま
 す。JSTの情報発信サイトなどでも取り組み
 の内容を発信していきます。

MERIT 3

取り組みの幅が広がる



取り組みのさらなる発展に必要なパート
 ナー探しや、多様な視点を持った人々からの
 刺激を受けられる場として活用できる。JST
 が関連する共創イベント等への参加機会が
 得られます。

2021年度
公募情報

公募期間
結果発表

2021年4月15日(木)～6月30日(水)
2021年10月中旬(予定)

表彰
後援

2021年11月上旬
(サイエンスアゴラにてイベント実施予定)
文部科学省

お問合せ先



SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

国立研究開発法人科学技術振興機構「科学と社会」推進部

E-mail sdgs-award@jst.go.jp

URL <https://www.jst.go.jp/sis/co-creation/sdgs-award/>



過去の受賞取り組み一覧

【2020年度受賞取り組み】

賞名	受賞団体名	取り組み名
文部科学大臣賞	一般社団法人Wheelog、島根大学 総合理工学研究科、株式会社オリィ研究所、株式会社ナノコネクト	みんなでつくるバリアフリーマップ「Wheelog！」
科学技術振興機構 理事長賞	香川大学、メロディ・インターナショナル株式会社、NPO法人e-HCIK（イーシーク）	超小型モバイル胎児モニターを用いて安心・安全な妊娠・分娩を実現する
優秀賞	しまあめラボ（福井工業大学）	赤島活性化プロジェクト～雨水活用による持続可能社会の模索～
	Craif株式会社	独自デバイスを用いた尿中miRNAの網羅的解析による高精度がん早期発見

※各受賞取り組みの詳細は、下記URLをご覧ください。

https://www.jst.go.jp/sis/co-creation/sdgs-award/2020/result_2020.html

【2019年度受賞取り組み】

賞名	受賞団体名	取り組み名
文部科学大臣賞	北陸先端科学技術大学院大学・山梨県立大学	染色排水の無害化を切り拓く最先端の草木染め
科学技術振興機構 理事長賞	みんな電力株式会社	「応援」やブロックチェーンを通じて再生可能エネルギーの生産者と消費者をつなぐ「顔の見える電力™」
優秀賞	農業・食品産業技術総合研究機構	農業に起因する温室効果ガスの排出緩和と気候変動適応技術による食糧安定生産への取組
	アイコンポロジ株式会社	バイオプラスチック複合材の活用によるSDGsの推進
	高知大学、香南市、高知県、前澤工業株式会社、日本下水道事業団	汚水処理の持続性向上に向けた高知家（こうちけ）の挑戦～産官学による新技術開発と全国への展開～
	株式会社スマイリーアース	循環型環境ストレスフリーを実現したタオル生産プロセスの構築で「日本タオル製造発祥の地」の地場産業を未来へ繋ぐ
次世代賞	熊本県立天草高等学校	あなたの地域は何cm? ～高校生が主導して行う、地球温暖化による海面上昇量を推定する取組み～

※各受賞取り組みの詳細は、下記URLをご覧ください。

https://www.jst.go.jp/sis/co-creation/sdgs-award/2019/result_2019.html

「STI for SDGs」アワード選考委員会 委員長メッセージ

「STI for SDGs」アワードに応募を検討される皆さまへ

皆さまもご存知の通り、「SDGs（持続可能な開発目標）」は目標達成年を2030年に設定しています。残された期間はあと10年を切っており、2020年からの10年間は「行動の10年」として目標達成に向けた具体的な活動をさらに進めていく時期となっています。

「STI for SDGs」アワードは、科学技術イノベーション（STI）がSDGsの達成に一層貢献することを目指して、2019年度に創設されました。STIを使って、社会課題を解決する優れた取り組みを表彰することにより、その取り組みのさらなる発展や、取り組みを広く周知することで同じような課題を抱える方々に活用してもらうことにより、SDGsの達成に貢献することを目的としています。

STIという言葉の響きから、最新技術・先端技術を使った取り組みを想像されるかもしれませんが、本アワードでは、科学技術の先進性やレベルは審査の対象とはしていません。過去の受賞取り組みも、そのSTIの活用方法はさまざまであり、受賞された団体の性質や、そこで活動されている方々の世代もバラエティーに富んでいます。受賞取り組みは、STIそのものではなく、いずれも解決策へのSTIの活用方法や、課題を解決することでの社会へ与えるインパクトの大きさ、その後の発展性・展開性について優れていたことが評価されました。すでに社会に流通している既存技術であっても、うまく活用して解決策に取り入れることで社会課題の解決を実現することはできるのです。皆さまの周りにも、そのような取り組みはたくさんあるのではないのでしょうか。

昨年に引き続き、世界中が新型コロナウイルス感染症拡大という共通の難局に向き合い続けている今ほど、SDGsの掲げる「誰ひとり取り残されない」理念や持続可能であることの重要性を身に染みて考えさせられる時はありません。2030年の目標達成に向けた「行動の10年」として活動を少しでも加速させ実効性あるものとするため、今年度も数多くの皆さまからの積極的なご応募をお待ちしております。

「STI for SDGs」アワード選考委員会 委員長 蟹江 憲史（慶應義塾大学 大学院政策・メディア研究科 教授）